

スタッフ便り

新年、あけましておめでとうございます。

年末年始は、コロナウイルスが少し落ち着き、家族や親戚と集まることができました。積雪も少なく、過ごしやすく、充実した時期でした。リフレッシュした状態で、新しい年の業務やイベントに取り組んでまいります。今年も、毎日のジョギングなど継続的な運動を取り入れ、食べ過ぎや飲み過ぎに注意しながら、健康的な生活を心がけていきます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。(K.K)

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

今年の年始は能登半島地震、羽田空港航空機事故と未曾有のお正月で始まりました。被害に遭われた方には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、私のお正月は実家のある和歌山県新宮市に家族で帰省し、元旦に八咫鳥で有名な「熊野速玉大社」「熊野本宮大社」「神倉神社」へ初詣巡りに行き、趣味となりつつある御朱印を頂いてまいりました。

その中でも、約30年振りに登った神倉山の中腹にある神倉神社は、熊野三山に祀られる熊野権現が初めて地上に降臨した伝承をもつ古社で、「国指定重要無形民族文化財」として登録されている御燈祭りが有名です。御燈祭りは約2,000人の白装束の上り子が山の中腹にある神倉神社に集結し、燃え盛るたいまつを持ち一番乗りを目指して、538段の急峻な石段を一気に駆け下りる勇壮な火祭りです。

この石段は、源頼朝が寄進したといわれる自然石で組み上げられた非常に急で険しい石段がお社まで続いており、その道のりは恐怖心と体力との闘いでしたが、登った先の巨大なご神体のゴトビキ岩を間近で見上げたときには、恐怖心も疲れも吹っ飛びとても清々しい気持ちになりました。更に不思議なことに、しばらく痛めていた膝がこの日を境にとっても調子が良くなり、少し不思議体験となったお正月でした。

皆様も、お近くにお越しの際は、是非一度538段の石段にチャレンジしてみてください。(Y.M)



船形山と泉ヶ岳（センター西側窓より）

SENAC 編集部会

滝沢寛之 水木敬明 後藤英昭 高橋慧智
今野義則 早坂和勝 大泉健治 小野 敏
斉藤くみ子

令和6年1月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
郵便番号 980-8578
PDF 作成 株式会社 東誠社